

第47回水の週間実施報告書



令和5年12月

水の週間実行委員会

第47回水の週間中央行事は、後援機関及び協賛団体の

皆様のご支援・ご協力により開催されました。

主催機関

水循環政策本部
水の週間実行委員会

国土交通省

東京都

後援機関

文部科学省
厚生労働省
農林水産省

経済産業省
環境省
独立行政法人 水資源機構

公益財団法人 日本科学技術振興財団
NHK
一般社団法人 日本新聞協会

協賛団体（五十音順）

公益財団法人 河川財団
一般社団法人 建設コンサルタンツ協会
一般財団法人 水源地環境センター
一般社団法人 全国建設業協会
一般社団法人 ダム・堰施設技術協会
一般社団法人 日本ガス協会
一般社団法人 日本建設機械施工協会
一般社団法人 日本水道工業団体連合会
一般社団法人 日本電機工業会
一般社団法人 日本レストルーム工業会

一般財団法人 河川情報センター
一般財団法人 国土技術研究センター
石油連盟
公益社団法人 全国建築物飲料水管理協会
電気事業連合会
一般社団法人 日本橋梁建設協会
一般社団法人 日本建設業連合会
日本製紙連合会
一般社団法人 日本ホテル協会
公益財団法人 リバーフロント研究所

一般社団法人 建設広報協会
一般財団法人 砂防・地すべり技術センター
一般社団法人 セメント協会
一般財団法人 ダム技術センター
一般社団法人 日本埋立浚渫協会
一般社団法人 日本経済団体連合会
一般財団法人 日本建設情報総合センター
一般社団法人 日本鉄鋼連盟
一般社団法人 日本林業土木連合協会

水の週間実行委員会委員団体

全国水土里ネット
一般財団法人 造水促進センター
公益社団法人 日本下水道協会
一般財団法人 日本ダム協会
地下水適正管理協議会
独立行政法人 水資源機構

公益社団法人 日本水道協会
全国簡易水道協議会
公益社団法人 土木学会
公益社団法人 農業農村工学会
国立研究開発法人 土木研究所 水災害リスクマネジメントセンター
特定非営利活動法人 日本水フォーラム

公益財団法人 利根川・荒川水源地域対策基金
一般社団法人 日本治山治水協会
公益社団法人 日本河川協会
一般社団法人 日本工業用水協会

(目 次)

第 47 回「水の週間」の開催にあたり	4
第 47 回「水の週間」行事の概要	10
水の週間中央行事「水を考えるつどい」	12
水の週間中央行事「水のワークショップ」・「水の展示会」	17
水の週間実行委員会による普及啓発の取組	20
令和 5 年度水資源功績者表彰	25
第 45 回全日本中学生水の作文コンクール	27
一日事務所長体験	31
第 38 回水とのふれあいフォトコンテスト	33
上下流交流活動	37
国・地方公共団体等における取組について	40
広報の取組	46
第 47 回「水の週間」(令和 5 年度)都道府県行事一覧	49
第 47 回「水の週間」新聞等報道状況	50
「水の週間」実施経過	53
水の週間実行委員会について	56

※表紙の写真は、第 37 回水とのふれあいフォトコンテストグランプリ「暑い日」：中村 昭夫氏
※表紙のロゴマークは、平成 27 年に選定された「健全な水循環」に関するロゴマーク

「水の日」及び「水の週間」について

昭和 52 年 5 月 31 日

閣 議 了 解

水資源の有限性、水の貴重さ及び水資源開発の重要性について国民の関心を高め、理解を深めるため、「水の日」を設ける。

「水の日」は毎年 8 月 1 日とし、この日を初日とする一週間を「水の週間」として、この週間において、ポスターの掲示、講演会の開催等の行事を全国的に実施するものとする。

上記の行事は、地方公共団体その他関係団体の緊密な協力を得て行うものとする。

「水の日」及び「水の週間」制定の理由

わが国の水需要は、生活水準の向上、経済の進展等に伴って近年著しく増大してきたが、一方水資源の開発は次第に困難になっており、渇水時には水不足が生ずることが予想される状況となっている。

このような状況にかんがみ、毎年 8 月 1 日を「水の日」とし、この日を初日とする一週間を「水の週間」として、この週間において、水資源の有限性、水の貴重さ及び水資源開発の重要性に対する関心を高め、理解を深めるための諸行事を行うことによってわが国の水問題の解決を図り、もって国民経済の成長と国民生活の向上に寄与することとしたい。

なお、諸行事を行うためには、年間を通じて水の使用量が多く、水について関心が高まっている 8 月の月上旬が適当であるので、その初日である 8 月 1 日を「水の日」とし、この日を初日とする一週間を「水の週間」とするものである。

水循環基本法（平成 26 年法律第 16 号）

第十条 国民の間に広く健全な水循環の重要性についての理解と関心を深めるようにするため、水の日を設ける。

2 水の日は、八月一日とする。

3 国及び地方公共団体は、水の日趣旨にふさわしい事業を実施するように努めなければならない。

平成 26 年 7 月 1 日に水循環基本法が施行され、8 月 1 日は、国民の間に広く健全な水循環の重要性についての理解や関心を深める日として、法律で定められた「水の日」となりました。

第47回「水の週間」の開催にあたり



斉藤 鉄夫 水循環政策担当大臣（国土交通大臣）

水循環政策を担当しております国土交通大臣の斉藤鉄夫です。

本日は、瑤子女王殿下の御臨席を賜り、第47回「水の日」記念行事『水を考えるつどい』が開催されますこと、心からお慶び申し上げます。また、開催にあたり、多大なご尽力を賜りました小池会長を始め、全ての関係者の皆様に、心から敬意と感謝を申し上げますとともに、全日本中学生水の作文コンクールで入賞した皆様にお祝い申し上げます。

水は、生命の源であり、私たちの生活に大きな「恵み」を与え続けてまいりました。その一方で、時として、水は洪水や渇水などの「災い」をもたらすこともあります。近年、世界的にも気候変動等の様々な要因が水循環に変化を生じさせ、水災害は激甚化・頻発化しています。

今年3月には、「国連水会議」が開催され、国連の場で46年ぶりに水に特化した議論が行われました。その中で、日本が強みを持つ水防災政策や技術を発信すると共に、日本が主導して、世界の水分野の強靱化に向けた提言の取りまとめが行われました。

また、国民の皆様に、水に対する関心を持っていただくことも不可欠です。

そのため、毎年、8月1日を「水の日」、水の日から始まる1週間を「水の週間」として、全国各地で様々な関連行事を開催しております。なかでも「水を考えるつどい」は、国民の皆様に、水に対する関心を持っていただく重要な行事であると考えております。

本日の「水を考えるつどい」が、普段当たり前のように使っている水がどこから来ているのか考えるきっかけとなり、水のもたらす恵みを将来にわたり享受できる社会の構築に向けた一助となりますことを、心より期待しております。

結びとなりますが、本日ご参加の全ての皆様方の尚一層のご活躍とご健勝を祈念し、私のご挨拶とさせていただきます。

水循環政策担当大臣（国土交通大臣） 斉藤 鉄夫



東京都知事 代理出席 東京都都市整備局 たにざき 谷崎 けいいち 馨一 局長

ただ今御紹介いただきました東京都都市整備局長の谷崎でございます。

本日ここに、瑤子女王殿下の御臨席のもと、第 47 回「水の日」記念行事「水を考えるつどい」を開催できますことを、たいへん光栄に思いますとともに、この集いに御列席の皆様へ、心からお礼を申し上げます。

本来ならば小池知事が御挨拶を申し上げるところでございますが、公務により出席できないため、代読させていただきます。

多くの皆様の御尽力により、「水の週間行事」が全国各地で盛大に繰り広げられますことは、都民をはじめ国民の皆様方が水の大切さを改めて考える上で、誠に意義深いことと思います。

江戸の昔から、東京は「水の都」として発展してきました。現在も、そしてこれからも、水は私たちの生活を支え、日常に安らぎを与えてくれる大切な存在です。大地に降り注ぐ雨は「天の恵み」として私たちに様々な恩恵をもたらします。

一方、時には災害となって私たちに襲い掛かってくることもあります。

東京都は、令和 4 年 12 月「TOKYO 強靱化プロジェクト」を策定し、水に関してもハード、ソフトの両面から施策を強化しております。今年に関東大震災から百年です。今後、百年先も安心できる強靱な首都東京の実現に向け、プロジェクトを推進してまいります。

また、利水では、安全でおいしい水の安定供給に向けて、森林の持つ水源かん養機能等の向上や、安定した河川流量の確保などを目的に、水道水源林の保全管理等に取り組んでおります。

東京は、蛇口から直接おいしい水を飲むことができる、世界でも数少ない都市です。安全で高品質な水道水は、大きな魅力であり、強みでもあります。高い水道技術や運営ノウハウを確実に未来に引き継ぐとともに、民間企業等と連携した国際展開の取組も進めています。

引き続き、都民や事業者、国など関係者のお力添えを賜りながら、東京における「水」に関わる様々な施策に積極的に取り組んでまいります。

本日お集りの皆様の益々の御健勝、御発展を祈念いたしまして、御挨拶とさせていただきます。

東京都知事 小池 百合子 代読



水の週間実行委員会 こいげ としお 小池 俊雄 会長

水の週間実行委員会会長の小池俊雄でございます。本年4月に虫明功臣先生よりこの会長職を引き継がせて頂きました。

本日第47回目の「水の日」及び「水の週間」を迎え、ここに瑤子女王殿下の御臨席のもと、多くの方々にご参加いただき、この「水を考えるつどい」を開催することができまして、誠にありがたく、また嬉しく思います。主催者の一人として厚く御礼申し上げます。

この「水の日」及び「水の週間」は、46年前、昭和52年5月に閣議了解によって制定されました。当時は高度経済成長の真ただ中で、水の需要が急増しておりました。そこで、「水資源の有限性、水の貴重さ等について国民の関心を高め、理解を深めるため」に定められたもので、その理念と目的は今も揺らぎはございません。更に平成26年には、人間社会の営みと自然環境の保全に果たす水の機能が適切にバランスしている状態、これを「健全な水循環」と申しますが、この維持と回復を目的として、水循環基本法が制定されました。「水の日」は、現在、この水循環基本法の下で定められております。

実は、この「水の日」及び「水の週間」が制定された昭和52年は水に関して国際的にも重要な年でした。昭和52年、1977年の3月に、アルゼンチンのマルデルプラタというところで、初めて国連水会議が開催されたのです。そして、さきほど斉藤大臣のご挨拶でもご紹介がありましたように、それから46年後に当たる今年の3月、2回目の国連水会議がニューヨークの国連本部で開催されました。

この46年間、様々な変化が起りましたが、その中でも最も大きな変化の一つが気候の変化です。今年も6月下旬から7月にかけて、九州、中国、北陸で線状降水帯が発生しました。秋田では7月14日に県内11か所のアメダスが同時に過去最大の日降水量を記録するという事態となり、各地で甚大な被害が発生しました。日本だけでなく世界各地でも豪雨は頻発していて、これまで洪水の経験の少なかったヨーロッパや、あるいはサウジアラビアやイエメンという砂漠の国々でも大洪水が発生し、7月初めにはニューヨークで時間100mm、千年に一度という豪雨もありました。

このような事態に対応して、我が国では最先端の科学技術を駆使して気候の変化を洪水対策の計画に盛り込む手法が開発され、流域のあらゆる関係者が、上流、下流のあらゆる場所で進める「流域治水」の取組が始まっています。

46年ぶりの今回の国連水会議の前日には、水と災害に関する国連特別会合が開催され、天皇陛下より「過去の事例から学び、水循環全体を俯瞰し大局的にとらえ、水、災害、気候変動の課題をつなぎ、総合的に解決していくことが期待されます」とのお言葉を頂き、私たちが直面している課題に取り組む姿勢を教えて頂きました。

私たちには、今、「健全な水循環」と「流域治水」という2本柱があります。これらを活用して、水の価値観を一層高め、激甚化する水災害にも対応でき、持続的に発展できる社会づくりに取り組んでいきたいと思えます。そのためには、国民一人ひとりに関心を持っていただき、自ら取り組もうと思えていただくことが必要です。「水の日」、「水の週間」の様々な行事を通して、是非とも心に響くメッセージを発信していきたいと思えます。その中央行事である本日の「水を考えるつどい」が、その一助となることを期待しています。

最後となりますが、水の週間行事に対する皆様の今後とも変わらぬご理解とご協力をお願い申し上げます。私からの挨拶とさせていただきます。

水の週間実行委員会会長 小池 俊雄

第47回「水の週間」水を考えるつどい

瑠子女王殿下 おことば



ただいまご紹介をいただきました、瑠子でございます。先ほどまで、雷雨が、すごい雨が降っておりましたが、皆様大丈夫でしたでしょうか。お風邪など引かれませんように本当にお気を付けくださいませ。

今までは、水のご研究をされていらっしゃる陛下が、この水を考えるつどいにいらっしゃるのかと思います。私は専門家でも研究者でもございませんので、昨年も思いましたが、場違いだなというふうに思いますし、これからお話をするわけですが、皆様が学ぶべきところがないのではないかなと思いますので、そこはご了承いただければと思います。

今回受賞された皆さんの文章を事前に送っていただきました。全部読ませていただきました。

自分が中学生だった頃に、水のことについて深く考えたり、また文章を書くということが私は得意ではなかったのですが、素晴らしいなと思うとともに、どんなことでも興味を持つこと、疑問に思うこと、というのはとても大切なのだと改めて感じました。作文の中にも書いている子がいましたが、例えば雨が降りすぎてもよくないですし、降らなすぎてもよくないですね。また日本は水道水を飲むということも当たり前でできますけれども、海外ではそれが当たり前ではない国というのはまだまだあると思います。そういった事をそれぞれの視点で良いと思うので、忘れないでいて欲しいなと思います。どんなことでも無関心というのが一番良くないことではないかなと私は思っております。

みなさんのこれからをととても楽しみにしていますので、これからみなさんの生活が、水のことも含めて色々なことに興味をもっていただければ良いなと思っております。

私のあいさつは以上になります。

第47回「水の週間」行事の概要

行 事	実 施 内 容	主 催 者 等
水の週間中央行事	<p>1. 水を考えるつどい</p> <p>日時:令和5年8月1日(火) 14:00～</p> <p>場所:イノホール(東京都千代田区)</p> <p>内容: ①主催者挨拶、瑤子女王殿下おことば ②第45回全日本中学生水の作文コンクール表彰式 ③上記作文コンクール最優秀賞受賞者による作文朗読 ④水源地行ってみたキャンペーンの報告 ⑤動画上映及び講演(ABMORIの取組) ⑥講演(東京農工大学准教授・白木克繁氏)</p>	<p>主催:水循環政策本部、国土交通省、東京都、実行委員会(注)</p> <p>後援:文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、環境省、(独)水資源機構、(公財)日本科学技術振興財団、NHK、(一社)日本新聞協会</p>
	<p>2. 水のワークショップ・展示会</p> <p>1) 水のワークショップ「水源地に行こう！」</p> <p>日時:令和5年8月5日(土)14:00～15:30</p> <p>場所:音楽の友ホール(東京都新宿区)</p> <p>内容:①天気と水循環に関する講演(気象キャスター 敷波美保さん) ②プロジェクトWETアクティビティ(2023ミス日本「水の天使」竹田聖彩さん) ③シリーズ水のめぐみ「水の源をたどる旅」上映 ④水源地域に関するクイズ ⑤お楽しみ企画(シャワーズとのグリーティング)</p> <p>2) 展示会</p> <p>日時:令和5年8月5日(土)13:00～15:30</p> <p>場所:音楽の友ホール(東京都新宿区)ホワイエ</p> <p>内容:水に関する団体の活動及び水源地域を紹介するポスター及び水循環に関するパネル展示</p>	<p>主催:実行委員会</p>
動画「シリーズ水のめぐみ」	<p>水循環について理解を深めていただくため、水に関する施設や取り組みを紹介する動画「シリーズ水のめぐみ」をWEBに公開中。今年度は愛知用水を舞台に「水の源をたどる旅」を撮影し公開。併せて「Go To 水源地！」と題した短編動画を制作し、全国のショッピングセンター等で放映</p>	<p>主催:実行委員会</p>
令和5年度水資源功績者表彰	<p>水資源行政の推進に関し、特に顕著な功績のあった個人並びに団体に対して、国土交通大臣表彰を授与</p>	<p>主催:国土交通省</p>
第45回全日本中学生水の作文コンクール	<p>「水について考える」をテーマとして、中学生を対象に水の作文コンクールを実施。</p> <p>都道府県の各地方審査等を経た作品を中央審査会で審査し、優秀作品に対して最優秀賞(内閣総理大臣賞)等を授与</p>	<p>主催:水循環政策本部、国土交通省、都道府県</p> <p>後援:文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、環境省、全日本中学校長会、(独)水資源機構、実行委員会</p>
一日事務所長体験	<p>全日本中学生水の作文コンクール優秀賞以上の受賞者の内、希望する者について在住地近隣の関係機関の事務所等において一日事務所長体験を実施</p>	
第38回水とのふれあいフォトコンテスト	<p>健全な水循環の重要性や水資源の有限性、水の貴重さ、水資源開発の重要性について広く理解と関心を深めることに資する写真作品を募集したフォトコンテストを実施。優秀作品に対して、国土交通大臣賞等を授与。また、若年層も含めてより広く作品を募集するSNS部門コンテストも実施し、優秀作品に対して各賞を授与</p>	<p>主催:実行委員会</p> <p>後援:国土交通省、東京都、(独)水資源機構</p>

第 47 回「水の週間」行事の概要

上下流交流事業 実施団体への助成	水資源の有限性、水の貴重さ及び水資源開発の重要性についての啓発や、ダム水源地域の振興に資する上下流住民の連携に関する活動等を行う団体等に対し助成を実施	主催：実行委員会
施設見学会	ダムや浄水場などの水に係わる施設の見学会を各都道府県等において実施	主催：都道府県ほか
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・全国各地で①講演会、②展示会など多彩な催しの実施 ・ポスターの配布・掲示 	

(注)「実行委員会」とは、「水の日」・「水の週間」の趣旨に賛同し、政府による「水の週間」の各種の啓発活動と一体となった諸行事を積極的に実施することを目的として、水に関係の深い団体により設立された「水の週間実行委員会」を指すものです。

水の週間中央行事「水を考えるつどい」



令和5年8月1日（火）、三笠宮家の瑠子女王殿下の御臨席を賜り、イイノホール（東京都千代田区）において「水を考えるつどい」（主催：水循環政策本部、国土交通省、東京都、水の週間実行委員会）が開催されました。

式典では、はじめに、斉藤鉄夫 水循環政策担当大臣（国土交通大臣）、谷崎馨一 東京都都市整備局長、小池俊雄 水の週間実行委員会会長による主催者挨拶後、御臨席の瑠子女王殿下よりおことばを賜りました。

その後、「第45回全日本中学生水の作文コンクール」の表彰式が行われ、最優秀賞及び優秀賞を受賞された皆さんに賞状が授与されました。

表彰式に続いて、最優秀賞（内閣総理大臣賞）を受賞された群馬県 群馬大学共同教育学部附属中学校3年生 安藤周平さんによる作文の朗読が行われ、会場のスクリーンでは作文の内容にちなんだ映像が映し出されました。

表彰式の後には、今年初めて実施しました「#水源地行ってみた」キャンペーンの結果を報告しました。その後、「ABMORI（えびもり）の取組『後世に残そう森・水・いのち』～志賀高原から世界へ 未来へ～」と題しまして ABMORI の取組を映像と講演でご紹介しました。ABMORI とは、歌舞伎俳優の市川團十郎（前・海老蔵）氏が、日本の美しき自然を後世に継承することを目的に、長野県山ノ内町・志賀高原での森づくりを通じて、多くの人に森との関わりを創り出し、森の再生を広く呼びかけるプロジェクトです。最初に、令和5年6月25日に行われた植樹の様相や市川團十郎氏のインタビュー映像を上映し、その後山ノ内町職員より ABMORI の取組と志賀高原ユネスコエコパークについてご講演いただきました。最後に、東京農工大学准教授の白木克繁先生より、「森のはたらきと水循環」と題しまして、森林のはたらきについての実験動画も交えてご講演いただきました。

【内容】

○主催者挨拶

斉藤 鉄夫（水循環政策担当大臣・国土交通大臣）

谷崎 馨一（東京都都市整備局長）

小池 俊雄（水の週間実行委員会会長・国立研究開発法人土木研究所水災害・リスクマネジメント国際センターセンター長）

○瑤子女王殿下 おことば

○第45回全日本中学生水の作文コンクール表彰式



表彰式



記念撮影

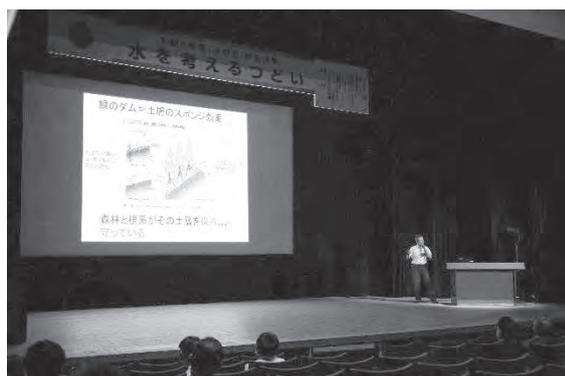
○水源地行ってみたキャンペーンの報告

○ABMORI の取組「後世に残そう森・水・いのち」～志賀高原から世界へ 未来へ～

- ・市川團十郎氏が出演する ABMORI の紹介動画の上映
- ・ABMORI 実行委員会事務局（山ノ内町）による講演



○講演「森のはたらきと水循環」白木克繁氏（東京農工大学准教授）



○会場内 展示のようす



水循環教材「水のおはなし」パネル及び動画



流域治水関連パネル



パネル展示状況
(水とのふれあいフォトコンテスト入賞作品)



パネル展示状況
(水の作文コンクール入賞作文)

○YouTube（国土交通省チャンネル）での動画配信

- ① 第45回全日本中学生水の作文コンクール 最優秀賞受賞者の作文朗読
(群馬県群馬大学共同教育学部附属中学校3年 安藤周平さん「わさびになりたい」)
https://www.youtube.com/watch?v=tTjCHVn0R_8
- ② ABMORIの取組「後世に残そう森・水・いのち」～志賀高原から世界へ 未来へ～
(ABMORI動画と講演動画)
<https://www.youtube.com/watch?v=Javri7CRlqQ>
- ③ 講演「森のはたらきと水循環」白木克繁氏（東京農工大学准教授）
<https://www.youtube.com/watch?v=Z3aH-DtAKCM>



動画①



動画②



動画③

令和5年度「水の日」記念行事

水を考えるつどい

8月1日は水の日

開催日時 令和5年8月1日(火)
14:00~16:30
(会場での受付開始時間13:00)

会場 **イイノホール**
(東京都千代田区内幸町2-1-1 飯野ビルディング4階)

14:00~14:50 主催者挨拶・全日本中学生水の作文コンクール表彰式など
15:00~15:10 水源地行ってみたキャンペーンの報告
15:10~15:40 ABMORIの取組
「後世に残そう森・水・いのち」
～志賀高原から世界へ、未来へ～

- 市川篤十郎(前・市川海老蔵)氏が出演するABMORIの紹介動画の上映
- ABMORI実行委員会事務局(山ノ内町)による講演

15:45~16:30 講演 「森のはたらきと水循環」
白木 亮輔氏(東京農工大学准教授)

ABMORI(エビモリ)とは？
歌舞伎俳優の市川篤十郎氏が、日本の美しい自然を後世に継承するために、長野県山ノ内町・志賀高原での森づくりを通じて、多くの人に森との関わりを届け出し、森の再生を広く呼びかけることを目的に行っている「いのちを守る森」づくりのこと。

入場無料
(事前申込制)




白木 亮輔氏



「水の日」は、水循環基本法に基づき、8月1日を「水の日」と定められました。8月1日から7日は「水の週間」です。

水循環基本法に基づき8月1日が「水の日」と定められました。
8月1日から7日は「水の週間」です。

【主催】水循環推進本部、国土交通省、環境部、国土交通省環境政策局
【協賛】文部科学省、国土交通省、国土交通省環境政策局、国土交通省環境政策局、国土交通省環境政策局
【特別協賛】国土交通省、国土交通省環境政策局

<https://mizunohi.jp>  

©2023 Mizunohi. All Rights Reserved. 水の日実行委員会事務局(山ノ内町)より発行されています。

「水を考えるつどい」開催周知チラシ

水の週間中央行事「水のワークショップ」・「水の展示会」

水の週間実行委員会では、毎年8月に東京都内で水に関するパネル展示やブース出展などを行う「水のワークショップ・水の展示会」を開催しています。今年度は、「水のワークショップ・展示会－水源地に行こう！」と題した小学生の親子を対象としたイベントを令和5年8月5日（土）に音楽の友ホール（新宿区神楽坂）にて開催し、関係者を含め約60人が参加しました。

「水のワークショップ」では、気象キャスター敷波美保さんによる「天気と水循環について学ぼう！」と題した講演、プロジェクト WET のプログラムのひとつ「みんなの水」を2023 ミス日本「水の天使」竹田聖彩さんが会場の子供たちと一っしょに実演、竹田さんがナビゲートする「シリーズ水のめぐみ：水の源をたどる旅」の上映のほか、水源地に関するクイズ大会を行い、ワークショップに参加されたお子さんと一体となったイベントを実施しました。また、「水の日」応援大使「シャワーズ」によるグリーティングとして参加者とシャワーズと一緒に写真を撮影するなどのふれあいの機会を設けました。さらに、報道機関等の方に取材していただき、ワークショップの内容や様子を報道いただきました。

水のワークショップ 入場無料
水源地に行こう!

8/1は水の日、8/1-7は水の週間。この期間中に小学生の夏休みの自由研究に役立つイベントを行います。水源地ってどんなところだろう? みんなでね!!

2023年8月5日(土)
14:00~15:30(13:00開場)

イベント内容

- ① 天気と水循環に関する講演
気象キャスター 敷波美保さん
- ② プロジェクトWETアクティビティ
2023ミス日本「水の天使」竹田聖彩さん
- ③ シリーズ水のめぐみ
「水の源をたどる旅」上映
- ④ 水源地に関するクイズ
- ⑤ お楽しみ企画 (シャワーズ登場)
シャワーズとのグリーティング

水の日はここから

場所 **音楽の友ホール**
(東京都新宿区神楽坂6-30)

お問い合わせは水の日の週間ウェブサイトへ

QRコード

「水のワークショップ」ポスター

○「水のワークショップ」



「水のワークショップ」会場（音楽の友ホール）



気象キャスター敷波美保さんによる
天気と水循環に関する講演



2023 ミス日本「水の天使」竹田聖彩さんによる
プロジェクトWETアクティビティ「みんなの水」



クイズ大会の様子



「水の日」応援大使「シャワーズ」とのグリーティング

「水の展示会」として、ワークショップ会場のホワイエにおいて、水の週間実行委員会の委員機関・協賛機関である、東京都水道局及び下水道局、巧水スタイル推進チーム（（一社）日本レストルーム工業会）、（一社）日本治山治水協会、特定非営利活動法人日本水フォーラム並びにダム工学会（（一財）ダム技術センター）から提供されたポスター等を展示しました。また、ダム技術センターによりワークショップ参加者を対象としたダム博士教室が開催され、参加者には認定証が交付されました。さらに、水源地の魅力や水循環などの施策についての理解を深めていただけるよう、水源地の各自治体から提供いただいた水源地の魅力を紹介する「水源地に行ってみよう」コーナーを設置したほか、流域治水及び水循環に関するパネル展示を行いました。

○水の展示会



ホワイエ等でのパネル・ポスター展示状況

水の週間実行委員会による普及啓発の取組

水の週間実行委員会事務局では、水の日・水の週間を啓発するため、ホームページや SNS での情報発信のほか、水に関する動画制作などを行っています。令和5年度においては、関係機関の協力により、制作した動画をより多くの方々に見ていただく機会を得るなど、全国のかつ幅広い年代層の方々に、水の日・水の週間を知っていただくことができました。

1. 「シリーズ水のめぐみ」：水の源をたどる旅

水に関する様々な施設と、それにかかわる人たちを紹介し、水循環について理解を深めていただくため、ミス日本「水の天使」に現地取材等をいただいてレポートいただく「シリーズ水のめぐみ」と題した動画を令和3年度より作成し、水の週間実行委員会のホームページ及び YouTube で公開しています。

今年度は「水源地」をテーマに、2023 ミス日本「水の天使」竹田聖彩さんが愛知用水地域を「水の源をたどる旅」として取材した動画を制作し公表しています。愛知用水の受益地である知多半島から木曾川を遡って愛知用水の水源がある牧尾ダムと御嶽山の麓の長野県王滝村まで旅をし、普段何気なく使っている水がどのように届けられるのか、そのためにはどのような人が関わってどのような活動がなされているのか、愛知用水の水に関わる人へのインタビューを行ってレポートする内容となっています。取材にあたり、愛知用水土地改良区、長野県王滝村及び独立行政法人水資源機構の協力をいただきました。

【シリーズ水のめぐみ】「水の源をたどる旅」(YouTube アカウント：mizunohi チャンネル)



「シリーズ水のめぐみ」サイト

○シリーズ水のめぐみ作品集



下久保ダム編／2021 ミス日本「水の天使」嶺 百花さん



利根大堰編／2020 ミス日本「水の天使」中村 真優さん



地下水編／2022 ミス日本「水の天使」横山 莉奈さん

2. 「GO TO 水源地」キャンペーン動画

水の週間実行委員会では、「#水源地行ってみた」キャンペーンを盛り上げるため、「GO TO 水源地！」として、「水の日」応援大使「シャワーズ」と2023ミス日本「水の天使」竹田聖彩さんが水源地の魅力を伝える動画を制作し公開しています。この動画は、令和5年8月に全国のAEONショッピングセンター、愛知県道路公社が管理する知多半島道路の阿久比PA、さいたま新都心駅前大型映像装置などでも放映されたほか、水の週間実行委員会のホームページでも公開しています。



さいたま新都心駅での放映状況



「GO TO 水源地！」サイト

3. 「水のミュージアム・オンライン：水循環とわたしたち」

令和3年度に水の週間実行委員会のホームページ上に開設した「水のミュージアム・オンライン」について、引き続き「常設展」として公開しています。ミュージアムに出演している9機関のページでは、それぞれのテーマに沿った動画を見てクイズに答えることを通じて、いつでも水のことを学ぶことができるようになっています。公開している動画のうち、「水はどこから？パート1：水の循環とダム役割」はこれまでの累計再生回数が2.1万回となるなど、多くの方に視聴いただいています。



【U R L】<https://www.mizunohi.jp/museum/index.html>

【出展団体】

水の週間実行委員会、東京都水道局、東京都下水道局、一般社団法人 ダム工学会ダムなんでも相談室、一般社団法人 日本治山治水協会、巧水（たくみ）スタイル推進チーム、特定非営利活動法人 日本水フォーラム、地下水適正管理協議会及び独立行政法人水資源機構



「水はどこから？パート1：水の循環とダム役割」



mizunohi (YouTube チャンネル) へ

4. SNSによる情報発信

水の週間実行委員会では、X（旧 Twitter）、Facebook 及び Instagram による情報発信を行っています。SNS を通じ、「水を考えるつどい」や「水のワークショップ・展示会」、フォトコンテスト等についての告知のほか、水の週間実行委員会で制作した動画の紹介等も行っています。



水の週間実行委員会 Instagram 画面



水の週間実行委員会 Instagram へ



水の週間実行委員会 X(旧 Twitter)へ



水の週間実行委員会 Facebook へ

令和5年度水資源功績者表彰

水資源行政の推進に当たって、水源地域の振興、水環境の保全、水源涵養、水資源の有効活用等に永年にわたって尽力されたことなど、特に顕著な功績のあった個人及び団体が、水資源功績者として表彰されました。表彰式は令和5年8月4日（金）に国土交通省において執り行われ、斉藤鉄夫国土交通大臣から表彰状が授与されました。

[個人]・・・1名

受賞者	功績概要
三輪 彰一 (愛知県)	元愛知県企業庁技術監（水道技術管理者） 長年にわたり水資源行政に関わっており、水源地域の過疎や高齢化問題に対して、豊富な経験を活かし課題解決に向けた支援を行った。豊富な経験と知識を活かし、国土審議会水資源開発分科会木曾川部会及び豊川部会等の専門委員として助言をおこなうなど、水資源行政の推進に貢献した。

[団体]・・・4団体

受賞者	功績概要
西郷村立川谷小学校・川谷中学校 (福島県)	小・中学校を通して、阿武隈川での清掃活動、河口地域の学校との交流学习（流域による河川の姿の違いを体感等）などの上下流交流や、水質調査や河川周辺の植生調査など、地域と連携し水資源の保全活動に取り組み、子どものうちから水資源の大切さを学ぶ機会を創出している。
揖斐川町 生命の水と森の活動センター (岐阜県)	地元の小中高生や下流地域の住民などが参加する植林活動、水源地域の環境を活用した体験学習プログラムの実施に加え、協議会が主体となり徳山ダムの施設案内を実施するなど水資源の保全や啓発活動に尽力している。
特定非営利活動法人地球温暖化対策地域協議会エコネットあんじょう (愛知県)	10年間にわたる募金活動で、安城市を支える水源である矢作川源流の森約12haを購入し、水源の森を保全していることに加え、水源の森観察会や川の生き物観察会などを通じて広く安城市民と根羽村との交流を深めることで水資源確保の啓発活動に尽力している。

特定非営利活動法人
遠賀川流域住民の会
(福岡県)

遠賀川流域の広い範囲の水質調査や清掃活動を近隣住民や企業などと連携して実施している。また、小学生への環境体験学習会だけではなく、指導者への指導者養成講座を実施するなど、水資源の保全等に関する啓発活動に尽力している。



令和5年度水資源功績者表彰 受賞者集合写真

第45回全日本中学生水の作文コンクール

全国の中学生及び海外日本人学校在学の中学生を対象に、「水について考える」をテーマとする「第45回全日本中学生水の作文コンクール」を開催し、本年は276校より総数8,776編の応募がありました。各都道府県の地方審査、中央審査会の審査等により、最優秀賞1編、優秀賞10編及び入選29編が選ばれました。

表彰式は、令和5年8月1日（火）に東京都千代田区のイイノホールで開催された第47回「水の日」記念行事「水を考えるつどい」にて執り行われ、優秀賞以上の受賞者に関係機関の代表者から賞状が授与されました。

表彰式に続いて最優秀賞を受賞された群馬県 群馬大学共同教育学部附属中学校3年生 安藤 周平^{あんどう しゅうへい}さんによる作文の朗読が行われました。

(1) 主催等

主 催：水循環政策本部、国土交通省、都道府県
後 援：文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、環境省、
水の週間実行委員会、独立行政法人水資源機構、全日本中学校長会

(2) 募集要領

- ①テ ー マ：「水について考える」（題名は自由）
- ②原 稿：400字詰原稿用紙4枚以内

(3) 中央審査会審査委員 ※敬称略 審査当時

名倉 良雄 （厚生労働省医薬・生活衛生局水道課長
：内閣官房水循環政策本部事務局参事官）
緒方 和之 （農林水産省農村振興局整備部水資源課長
：内閣官房水循環政策本部事務局参事官）
向野陽一郎 （経済産業省経済産業政策局地域経済産業グループ地域産業基盤整備課長
：内閣官房水循環政策本部事務局参事官）
永井 春信 （国土交通省大臣官房審議官（水管理・国土保全局担当）
：内閣官房水循環政策本部事務局審議官）
大井 道博 （環境省水・大気環境局水環境課長
：内閣官房水循環政策本部事務局参事官）
佐藤 太 （全日本中学校長会編集部長）
須磨 佳津江（キャスター）
長崎 宏子 （スポーツコンサルタント 元オリンピックスイマー）
渋谷 正夫 （公益社団法人 日本水道協会調査部長）
熊谷 和哉 （独立行政法人水資源機構理事）
橋本 淳司 （水ジャーナリスト 武蔵野大学客員教授）

※表彰式の集合写真は、P13をご覧ください。

第45回
全日本中学生

水の作文

作品集
募集

コンクール

考えよう。そして伝えよう。
大切な「みず」のこと。



ポケットモンスター
No.134 シャワーズ

タイプ 水 属性 水

シャワーズはきれいな水辺に生息し、細胞が水の分子に似ていることから、「水の日」応援大使として8月1日「水の日」を応援しています。

◆メインテーマ
水について考える
(個別の題名は自由)

◆応募対象
中学生(2023年4月時点)
海外からの応募もお待ちしております。
※作品は日本語でお書きください。

◆応募締切
【国内】各都道府県の水資源担当部局にお問い合わせください
【海外】令和5年5月19日(金)

◆提出先(問い合わせ先)
国土交通省水管理・国土保全局
水資源部水資源政策課
〒100-8918 東京都千代田区霞が関2丁目1番地3号
TEL:03-5253-8386(直通)

【主催】水循環政策本部、国土交通省、都道府県
【後援】文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、
環境省、水の週間実行委員会、独立行政法人水資源
機構、全日本中学校長会

8月1日は「水の日」 | 水循環基本法で、8月1日は「水の日」と定めています。8月1日から7日は「水の週間」です。

© 2022 Pokémon. © 1996-2022 Nintendo/Creatures Inc./GAME FREAK Inc. ポケットモンスター・ポケモン・Pokémonは任天堂・ファミリーコンピュータの登録商標です。

水の作文 検索

※詳しくは、二次元バーコードから
「水の作文コンクール」ページを
ご覧ください。



第45回全日本中学生水の作文コンクール入賞者一覧

賞名	都道府県名	作文の題名	学校名	学年	氏名
最優秀賞 内閣総理大臣賞	群馬県	わさびになりたい	群馬大学共同教育学部附属中学校	3	安藤 周平
優秀賞 厚生労働大臣賞	青森県	日本の水	八戸市立是川中学校	2	小林 千花
優秀賞 農林水産大臣賞	宮城県	大好きな景色と水	仙台市立郡山中学校	3	辻井 珠希
優秀賞 経済産業大臣賞	愛媛県	ダム湖に沈む村	松山市立南第二中学校	3	松平 定久
優秀賞 国土交通大臣賞	沖縄県	水の重み	南風原町立南風原中学校	3	平田 菜乃華
優秀賞 環境大臣賞	滋賀県	手紙 琵琶湖のあなたへ	近江兄弟社中学校	1	福岡 周
優秀賞 全日本中学校長会会長賞	北海道	大切な遊水地と共に	砂川市立砂川中学校	3	水島 颯一
優秀賞 水の週間実行委員会会長賞	静岡県	感動のネットワーク水	磐田市立磐田第一中学校	1	佐藤 迪洋
優秀賞 独立行政法人水資源機構理事賞	埼玉県	「金賞の思いを捧げて」	川口市立高等学校附属中学校	2	合葉 鴻太
優秀賞 シャワーズ賞	徳島県	うちの川	神山町神山中学校	3	中南 仁
優秀賞 中央審査会特別賞	静岡県	清らかな水、尊い水	常葉大学附属常葉中学校	1	西ヶ谷 あかり
入選（29編）	青森県	水の未来を考える	南部町立名川中学校	2	松山 結宇
	青森県	水に惹かれる心	むつ市立関根中学校	3	鳴海 綺音
	福島県	限りある水について考える	須賀川市立第一中学校	3	秋山 北透
	茨城県	祖父のマンションと水	土浦日本大学中等教育学校	2	遠藤 瑠七
	栃木県	人間のWell-being「水」	栃木県立矢板東高等学校附属中学校	3	佐藤 姫香
	群馬県	水という命	群馬大学共同教育学部附属中学校	2	内田 崇法
	東京都	この一滴はどこから	学習院女子中等科	3	下野 理央
	神奈川県	水害から人々の暮らしを守る工夫	聖園女子学院中学校	1	植松 舞花
	新潟県	水が創り出す故郷の風景	新潟大学附属長岡中学校	3	新保 心菜
	富山県	美味しい水をいつまでも	黒部市立清明中学校	2	近川 藍子
	福井県	水から学ぶ	勝山市立勝山北部中学校	3	廣田 真里菜
	岐阜県	当たり前とは？	川辺町立川辺中学校	3	木下 真心
	愛知県	水の恵み	設楽町立津具中学校	2	村松 真波
	三重県	僕の決意	高田中学校	1	山中 健貴
	京都府	水と共に生きる	京都先端科学大学附属中学校	1	三ツ木 文琉
	大阪府	水都大阪と呼ばれ続けるために	大阪府立水都国際中学校	1	村井 桃恋
	奈良県	地域の中で生きる「水」	奈良市立富雄第三中学校	3	落合 ひま莉
	和歌山県	水の大切さ	開智中学校	1	篠崎 唯奈
	島根県	「天の川のような」	松江市立湖南中学校	3	高草木 晴香
	岡山県	当たり前	岡山県立岡山操山中学校	2	吉田 彩乃
	香川県	水不足	坂出市立東部中学校	2	山中 恋
	愛媛県	命をつなぐ水	新居浜市立南中学校	3	篠原 咲音
	佐賀県	世界を見て	佐賀大学教育学部附属中学校	3	田口 夢彩
	熊本県	「水と生きる」	真和中学校	3	杉本 周優
	宮崎県	ハチドリの水	宮崎県立宮崎西高等学校附属中学校	2	また 莉央
	宮崎県	「この世のすべては水のおかげ」	宮崎県立宮崎西高等学校附属中学校	1	田邊 彩乃
	大分県	技術と自然のろ過装置	大分市立大分西中学校	2	池本 すみれ
	中国	水で世界を覗く	青島日本人学校	3	塩沢 里菜
	カンボジア	世界の人々に「透明な水」を	プノンペン日本人学校	3	福井 愛莉

内閣総理大臣賞（最優秀賞）

わさびになりたい

群馬県 群馬大学共同教育学部附属中学校 三年 安藤 周平

私は、寿司が大好物だ。寿司に欠かせないのが、ツーンと鼻に抜けるわさびの辛さだ。わさびは不思議に満ちた植物だ。私は、わさび好きが高じて、わさびを自分で育ててみようと考え、わさびの苗を買ったことがある。説明書の指示に従って水槽に水をはり、土を入れ、わさびを植えた。しかし、数日もすると葉が垂れ下がり、ついには枯れてしまった。その後も、水換えをしたり土の質を変えたりしながら、何度もわさびの水耕栽培にチャレンジしたが、最長でも二か月程度しかもたず、わさび栽培は失敗に終わった。

どうしてうまく育たないのか。調べた結果、溜まり水でわさびが育たないのは、わさびの根から、種子発芽や微生物の生育を阻害する物質が放出されているためだということが分かった。わさびが放出するアリルイソチオシアネートという物質は、あらゆる植物の成長を妨げる。他の植物だけでなく、なんとわさび自身をも枯らしてしまう。わさびは、自ら作り出す物質で、生命線である水を汚してしまう。いわば自滅する性質を持っているのだ。だからわさびは流水でないと育てるのが難しい。なんと不思議な植物だろう。わさびに対する私の関心はますます高まった。

わさびの成長する姿を見たくて、私は昨年の夏、久しぶりの外出先に長野県にあるわさび農場を選んだ。そこでは、見渡す限りの大きなわさび田に、数千株はあろうかというわさびが整然と植え付けられていた。わさび田には、隣を流れる清流から引き込んだ水が、わさびの間を縫うように流れていた。その水は宝石のように光りながら豊かに流れており、橋の上から見ても、水底の石の粒がはつきり見えるほど澄んでいた。足を浸してもよいコーナーがあったので、わさびになった気持ちで足を入れてみた。真夏の火照った身体が冷やされて気持ちいいと感じたのは最初だけで、一分もしないうちに冷たさで指先が痛くなり、足を抜いてし

まった。これがわさびを育む水なのだと身をもって体験した。なるほど、これだけ大量の美しい水が流れていけば、アリルイソチオシアネートもあつという間に押し流され、わさびを枯らすことはないだろう。しかし、流れた先には水田がある。下流で稲が育たなくなるなど水質汚染の問題が発生しないのはなぜだろうか。

この問題はすぐに解決した。アリルイソチオシアネートは比較的短時間で揮発してしまうのだ。わさびを食べたときのツーンとした感じが長く続かないのはそのためだ。わさびの毒素はすぐに揮発してなくなるから、下流の植物への影響はなく、水質汚染の問題は生じないのだ。

一方、私たち人間はどうだろう。これまでの歴史を振り返ると、産業発展のため、人間は様々な物質を作り出し、水を汚染した。河川に有毒物質が流入し、日本各地で公害が発生した。現在でも、原発の汚染水の問題を抱える。私たち人間は、自分で作り出したもので大切な水を汚している。生きていく以上、周りの環境に影響を与えてしまうことは避けられない。だからこそ、汚してしまった「その後」まで考えることが不可欠だ。

私も、わさびのように生きられないか。私たちには、水資源を守り安全な水を次の世代に引き継ぐ責務がある。生きるために作り出してしまった有害物質を無害にして自然に戻すにはどうしたらよいか。困難な課題だが、私たちの世代がなんとしても解決しなければならぬ。新興国では経済発展とともに、環境汚染、水質汚染が叫ばれている。すでに公害を経験した歴史を持つからこそ、私たちが先頭に立ち水を守らなければならぬ。私はわさびになりたい。わさびのツーンとした辛みを感じながら、私はその決意を新たにしたい。

一日事務所長体験

全日本中学生水の作文コンクールの優秀賞以上の受賞者を在住地近隣の国土交通省及び独立行政法人水資源機構の事務所等に招待し、一日事務所長として職場体験が実施されました。今年度は、受賞者8名が以下のとおり一日事務所長を体験しました（実施日順）。

- 受賞者名 静岡県 磐田市立磐田第一中学校
佐藤 迪洋さん
優秀賞（水の週間実行委員会会長賞）
- 実施日 令和5年8月7日（月）
- 実施事務所 国土交通省中部地方整備局
浜松河川国道事務所



- 受賞者名 北海道 砂川市立砂川中学校
水島 颯一さん
優秀賞（全日本中学校長会会長賞）
- 実施日 令和5年8月9日（水）
- 実施事務所 国土交通省北海道開発局
岩見沢河川事務所
桂沢ダム管理支所



- 受賞者名 青森県 八戸市立是川中学校
小林 千花さん
優秀賞（厚生労働大臣賞）
- 実施日 令和5年8月10日（木）
- 実施事務所 国土交通省東北地方整備局
青森河川国道事務所



- 受賞者名 宮城県 仙台市立郡山中学校
辻井 珠希さん
優秀賞（農林水産大臣賞）
- 実施日 令和5年8月10日（木）
- 実施事務所 国土交通省東北地方整備局
釜房ダム管理所



○受賞者名 愛媛県 松山市立南第二中学校
松平 定久 さん
優秀賞（経済産業大臣賞）
実施日 令和5年8月17日（木）
実施事務所 国土交通省四国地方整備局
松山河川国道事務所



○受賞者名 静岡県 常葉大学附属常葉中学校
西ヶ谷 あかりさん
優秀賞（中央審査会特別賞）
実施日 令和5年8月23日（水）
実施事務所 国土交通省中部地方整備局
長島ダム管理所



○受賞者名 群馬県 群馬大学共同教育学部
附属中学校
安藤 周平 さん
最優秀賞（内閣総理大臣賞）
実施日 令和5年8月24日（木）
実施事務所 独立行政法人水資源機構沼田総合管理所
（矢木沢ダム、奈良俣ダム）



○受賞者名 埼玉県 川口市立高等学校
附属中学校
谷葉 鴻太 さん
優秀賞（独立行政法人水資源機構理事長賞）
実施日 令和5年8月30日（水）
実施事務所 国土交通省関東地方整備局
荒川下流河川事務所



第38回水とのふれあいフォトコンテスト

主催等 主催 水の週間実行委員会
後援 国土交通省、東京都、独立行政法人水資源機構
協賛 富士フイルムイメージングシステムズ（株）

募集作品 健全な水循環の重要性や水資源の有限性、水の貴重さ、水資源開発の重要性について広く理解と関心を深めることに資する作品

例) ・生命を支え、育む水 ・くらしの中の水
・ダムや水路、水道など水をつくり、供給するもの
・歴史とともにある水の風景 など

○カラープリント部門

募集期間 令和5年4月24日（月）～ 令和5年6月16日（金）

応募状況 総計 1,681点

審査員（敬称略 審査当時）

中谷 吉隆（写真家） 片貝 敏雄（国土交通省大臣官房審議官）
中村 恵美（写真家） 谷崎 馨一（東京都都市整備局長）
筑紫 ゆうな（切り絵作家） 山田 哲也（水の週間実行委員会運営委員長）

URL <https://www.mizunohi.jp/intro/intro05.html>（「水の日」「水の週間」HP）

○SNS部門

募集期間 令和5年4月24日（月）～ 令和5年6月16日（金）

応募状況 総計 812点

審査員（敬称略 審査当時）

詩 歩（Shiho）（「死ぬまでに行きたい！世界の絶景」プロデューサー）
ひきたよしあき（コラムニスト）

URL <https://www.mizunohi.jp/photo/winners.html>（「水の日」「水の週間」HP）



河川 公益財団法人河川財団による
基金 河川基金の助成を受けています。

【カラープリント部門受賞作品】

〔グランプリ〕 1名

○ 国土交通大臣賞

「暑い日」

なかむら あきお
中村 昭夫 (三重県)



〔優秀賞〕 3名

○ 東京都知事賞

「早春の台場」

ゆきもと のぶあき
雪本 信彰 (高知県)



○ 水の週間実行委員会賞

「給水タイム」

さいとう おさむ
斎藤 雄幸睦 (岡山県)



○ 独立行政法人水資源機構理事長賞

「宮ヶ瀬ダムの堤体に大接近」

高津 弘人 (神奈川県)



〔特別賞〕 1名

○ 審査員特別賞

「赤カブ洗い」

中村 邦夫 (福島県)



〔特選〕 5名

「怖い！でも行く」

栗本 実 (新潟県)

「清流で産卵」

今井 寛治 (岐阜県)

「さがり花」

松田 吉夫 (京都府)

「縄張り」

長 吉秀 (福岡県)

「戯れ」

米田 沙央里 (大分県)

〔入選〕 8名

「初めての体験」

津森 富貴子 (山口県)

「街の誇り」

桑名 弥栄 (大阪府)

「コーヒータイム」

谷口 常雄 (神奈川県)

「宗祇水」

木下 雅子 (千葉県)

「雪のダム」

中村 光雄 (和歌山県)

「田んぼデビュー」

山田 宏作 (鹿児島県)

「熱い飛沫」

臼井 寛 (岡山県)

「震災後の水道」

有田 勉 (岩手県)

【SNS 部門受賞作品】

[グランプリ] 1名

m.har6210

(on instagram)



[特別賞] 2名

ayumi♂

(on twitter)



fullblast_next

(on instagram)



上下流交流活動

水の週間実行委員会は、水資源の有限性、水の貴重さ、水資源開発及び健全な水循環の重要性について、国民の間に広く理解と関心を深めるため、ダム水源地域等の振興等に資する活動を行う団体への助成事業を行っています。令和5年度についても助成に関する公募を行い、選考の上、以下に掲げる21団体への助成決定を行い、各団体において上下流交流会等の事業が行われました。

No.	実施団体	名称・内容	実施日・実施場所
1	認定 NPO 法人水のフォーラム	One River Basin - Arakawa & Basic Tonegawa 「私のまちに流れる水」作文コンクール 荒川・中川流域のうち、埼玉県内小学校の高学年生徒を対象に、水がどこから来てどこへ行くのかを感想文にまとめる一連の作業を通じて、水に対して賢く強靱な住民が増えることを目的として実施	令和5年4月～11月14日(火)埼玉県内
2	四国中央市湖水まつり実行委員会	湖水まつり 水に対する感謝の気持ちの醸成と併せて嶺南地域の活性化の一助となるよう湖水まつりを実施	令和5年8月5日(土) てらの河畔広場(富郷ダム)(愛媛県四国中央市)
3	豊川総合用水土地改良区	令和5年度豊川用水上下流交流事業 豊川用水の水源地域である愛知県新城市在住の小学生児童、保護者及び教職員を対象に、上流で貯えられた水が、下流でどのように有効利用されているか学ぶため、下流域の田原市及び豊橋市の豊川用水施設等の見学を実施	令和5年8月1日(火) 愛知県豊橋市及び田原市
4	東播用水「水と緑の交流」実行委員会	東播用水源流ミニツアー 東播用水の源流・丹波篠山を訪れ、施設を見学するとともに、受益者と上流地域の住民との交流を深め、丹波篠山地域の森林が、水環境保全に役立っている実態を理解してもらうことを目的として実施	令和5年10月7日(土) 兵庫県丹波篠山市内
5	愛知用水土地改良区	愛知用水水源交流事業 水源地王滝村の村有林にて育樹作業を行い、水源涵養の大切さを体感するとともに、水源地域住民との交流を図ることにより、水源地域の現状や今後の発展等について意見交換を実施	令和5年7月24日(月)～25日(火) 長野県木曾郡王滝村ほか
6	岩屋ダム水源地域ビジョン推進協議会	岩屋ダム公開放流イベント 下呂市住民と下流域の自治体の住民の交流、水資源やその開発の重要性についての啓発、水源地域である下呂市の金山・馬瀬地域等の振興を目的に、岩屋ダムの点検放流イベントを開催	令和5年7月30日(日) 岩屋ダム (岐阜県下呂市)
7	岩見沢市	令和5年度 水のイベント 2023 ふれあい水ひろば 水資源の有限性、水の貴重さ及び水資源開発の重要性について市民の関心を高めるとともに、岩見沢市の上下水道の理解を深めることを目的として、利き水体験や給水タンク車からの給水体験のほか、上下水管やダム・浄水場の展示をした参加型イベントを実施	令和5年8月2日(水) いわみざわ健康ひろば (北海道岩見沢市)
8	利根川源流讃歌合唱団	第21回水のふるさと「利根川源流讃歌」コンサート 合唱活動を通して関わる多くの方々の心に響きわたらせ、利根川をいつまでも大切にしたいという想いを育み、源流から太平洋へと流れる利根川の素晴らしさを伝えるためのコンサートを開催	令和5年9月10日(日) 渋川市中央公民館ホール (群馬県渋川市)

9	子供のもり公園 活性化協会	夏休み子どもフェス 水辺の自然観察 小さい子どもさんから大人まで水と親しめ、生き物観察や室生ダムが生活にいかにか密着しているか出前講座を開催。地域住民の交流できる場をつくり、室生ダムに生息する生き物観察も実施	令和5年7月30日(日) 平成榛原子供のもり公園 (奈良県宇陀市)
10	NPO 法人家棟川 流域観光船	次世代の子供達に自然環境体験学習 淀川流域における上下流の住民間の交流を促進し、琵琶湖の自然環境及び水資源の大切さを学ぶ事業として、大阪府豊中市の子供達と地元野洲市の子供達で、シジミの収穫体験を行うとともに、琵琶湖の環境学習及び清掃活動を実施	令和5年8月21日(月) 滋賀県野洲市内(琵琶湖・あやめ浜)
11	豊田市上下水道局	夏休み親子上下水道探検隊 「水の日」「水の週間」の関連行事の一環として水資源の有限性や水の貴重さ等への関心を高め理解を深めてもらうため、矢作ダムや下水処理施設、水道水源林の見学を実施	令和5年8月2日(水)・ 7日(月)及び9日(水) 矢作ダム(愛知県豊田市)ほか
12	北海土地改良区	第15回 北海幹線用水路ウォーキング 農業水利施設のこと、米を作るには大量の水が必要なこと、農業農村地域の多面的機能を多くの人に知っていただく事を目的として、北海幹線用水路が疎水百選に選定されたことを契機に取り組み始めたウォーキング大会を実施	令和5年7月30日(日) 北海道美唄市
13	姫里地域青少年育成会及び余呉・姫里こども交流会実行委員会	余呉・姫里子ども交流交歓会 滋賀県長浜市余呉町にて、水の大切さを知る講話をはじめ自然や歴史を体験できる行事を通じて丹生川の地域で暮らす子どもたちと交流することでそれぞれの地域の良さを知る交流会を開催	令和5年8月5日(土) 滋賀県長浜市余呉町
14	特定非営利活動法人地域と自然	ちょいまるよし笛コンサート&水と自然のトークショー 木津川流域のセイタカヨシで作った楽器、よし笛によるコンサートと水や自然に関するトークショーを開催し、木津川・淀川流域全般の広い範囲の人々や河川・ダム・水環境について興味を持ってもらうきっかけづくりの行事として実施	令和5年8月27日(日) ads ホール (三重県名張市)
15	十勝川中流部市民協働会議	札内川ダム利活用促進事業 十勝地方7自治体の水がめであり、札内川流域及び十勝川中・下流域の洪水対策上重要な役割を果たしている札内川ダムの認知度が高まり、訪れる人が増えることを期待して、ダム特有の野鳥2種類の観察を組み合わせた交流事業を実施	令和5年8月28日(月) 札内川ダム (北海道中札内村)
16	特定非営利活動法人地球温暖化対策地域協議会 エコネットあんじょう	矢作川 水源の森プロジェクト 広く安城市民に対して、水資源を確保することの重要性を啓発する活動を通じて、矢作川流域社会づくりに貢献するため、水源の森観察会、根羽村檜原川での川遊び体験を通して村民との交流会、水源の森に土地本来のドングリの種を蒔く活動を実施	令和5年6月17日(土)・ 7月29日(土)及び10月7日(土) 長野県根羽村
17	環境教育班 えこいく	浴衣 de 打ちミズ～夏の陣 2023～ 水の週間に合わせて、浴衣を着用した打ち水、水循環に関する紙芝居を使った小さい子どもへの環境教育、水風船を用いたマイクロプラスチックについての教育及びワークショップ等を行い、水の貴重さなどについて国民の関心を高め、水の大切さを改めて認識し、水不足をはじめとした水問題に目を向けるきっかけを醸成する行事を実施	令和5年8月6日(日) ほか くすかぜ広場 (佐賀県佐賀市)

18	公益財団法人 あまぎ水の文化村	ウォーターフェスティバル 2023 文化村の特性を生かした上下流交流を目的とする活動や水源地地の活性化を図ることを目的とする活動として、水に親しむ「ウォーターアクティビティ」・多彩なワークショップ・「朝倉3ダム見学ツアー」・「物販・飲食物の販売」を実施	令和5年7月23日(日) あまぎ水の文化村 (福岡県朝倉市)
19	特定非営利活動法人 新町川を守る会	さめうら水源の森整備交流会 早明浦ダム周辺で豊かな里山再構築を目指し、徳島県・香川県及び吉野川源流の高知県嶺北地域住民による交流として森林整備(下草刈り・枝打ち)を実施	令和5年7月14日(金)・ 15日(土) 高知県土佐郡大川村
20	神奈川県秦野市	第7回秦野名水フェスティバル 市民共有の財産である地下水を守り育て、将来にわたって利活用していくため、「秦野名水」の豊かさを広く周知することを目的として「芸術」をテーマに、秦野市出身アーティストによるライブイベント、東海大学のチャレンジプロジェクトと連携したアート体験のほか、関係機関と連携した名水科学実験及び名水水族館等を設置したイベントを実施	令和5年8月5日(土) クアーズテック秦野カルチャーホール (神奈川県秦野市)
21	加古川西部土地 改良区	翠明湖の桜を救え! 水源地との上下流交流の一環で、翠明湖(すいめいこ: 栂屋ダム)周辺の管理用道路に植樹された桜の下刈り及び流木伐採等の周辺整備を、上下流の住民が協働で作業することで、水源地への感謝を表すイベントを実施	令和5年11月26日(日) 翠明湖(栂屋ダム) (兵庫県多可町)

【実施状況(抜粋)】



夏休みにおもいっきり自然体験!! 水辺の自然観察
(子供のもり公園活性化協会)



愛知用水水源交流事業
(愛知用水土地改良区)

国・地方公共団体等における取組について

内閣官房水循環政策本部事務局をはじめとする国の機関や地方公共団体等において、水に関する理解を深めるための取組が実施されました。

○こども霞が関見学デー ～水について考えてみよう！～

日時 令和5年8月2日（水）～3日（木）

場所 中央合同庁舎3号館10階共用会議室（東京都千代田区霞が関2-1-3）

実施協力 巧水スタイル推進チーム（日本レストルーム工業会）

内容 水について考えよう！～「巧水（たくみ）検定」を行うよ～

タブレット端末を使用した「巧水検定」を行い、クイズ形式で「水の賢い使い方」を楽しく学習してもらいました。



実施協力 NPO 法人雨水まちづくりサポート

内容 親子で挑戦！「あまみず検定」特別編

雨をテーマにしたミニ実験で水の浸み込みやすさと地面の関係を見たり、クイズに答えて、水循環やあまみず活用に関する知識を身につけました。



○国土交通省内でのパネル展示

期間 令和5年8月7日（月）～令和5年8月18日（金）

場所 合同庁舎3号館1階正面玄関展示スペース（東京都千代田区霞が関2-1-3）

内容 第38回水とのふれあいフォトコンテスト入賞作品、令和5年度水資源功績者表彰受賞者功績概要、第45回全日本中学生水の作文コンクール優秀作品を展示し、国土交通省職員及び来庁者に水の大切さをPRしました。



パネル展示状況
(水とのふれあいフォトコンテスト入賞作品)



パネル展示状況
(水資源功績者表彰受賞者功績概要)

○都道府県等が実施する「水の日」「水の週間」関連行事

国、地方公共団体、その他関係団体による「水の日」「水の週間」関連行事が、令和5年度は全国で273行事実施されました。その中の1例をご紹介します。

第7回秦野名水フェスティバル～私たち(we)と芸術(ART)をつなぐ水(wATeR)～【神奈川県秦野市】

期間 令和5年8月5日（土）

場所 クアーズテック秦野カルチャーホール（秦野市平沢82番地）

主催 神奈川県秦野市（環境共生課）

参加者 約700人

内容 「私たち(we)と芸術(ART)をつなぐ水(wATeR)」をテーマに、アート体験やライブペインティングなどを実施しました。また、名水復活宣言から20周年を迎えることから、記念式典、講演会及びパネルディスカッションを行うほか、名水科学実験教室、名水水族館、名水マルシェなども開催しました。



「秦野名水フェスティバル」ポスター



秦野名水復活20周年記念式典



名水科学実験教室

○「水の日」ブルーライトアップ

実施日 令和5年8月1日（火）～7日（月）

場 所 全国各地の施設（117箇所）

内 容 より多くの人に「水の大切さ」や「健全な水循環」にいて考えていただくため、地方公共団体・事業者・民間の団体等の協力を得ながら、全国各地の施設を、「水」を連想させるブルーにライトアップしました。

例年、「水の日」（8月1日）に実施していましたが、今年は「水の週間」である8月1日～7日に期間を延長して実施しました。

ブルーに染まった各地の施設



水都の泉・水都タワー
(岐阜県大垣市)



川口ダム
(徳島県那賀町)



東武鉄道隅田川橋梁
(東京都)



鶴ヶ城（会津若松城）
(福島県会津若松市)



水戸市水道低区配水塔
(茨城県水戸市)



永瀬ダム
(高知県香美市)

○「#水源地行ってみた」キャンペーンの実施

例年、水の大切さに関する普及啓発活動を実施している中で、今年度は「水源地」に着目し、自分たちが普段使っている「水」はどこから来るのか、水源地を調べ訪れてもらうキャンペーンを実施しました。

①「#水源地行ってみた」水源地の写真を SNS に投稿しよう！

普段当たり前のように使っている水や、住んでいる街を流れる川など、身の回りの「水」はどこからやってくるのでしょうか？水源地を調べて実際に訪れ、水源地を撮影し、「#水源地行ってみた」をつけた画像を X（旧 Twitter）、Instagram にて募集しました。

応募された画像の中から作品を選定し、8月1日に実施した「水の日」記念行事「水を考えるつどい」にて発表しました。



投稿された水源地の写真（一部）

②シャワーズと巡る水源地シリーズ 3本の動画を配信！

「水の日」応援大使「シャワーズ」が日本各地の3か所の水源地域を訪問しました。

訪れた水源地の魅力や、森林保全、地域振興に携わる人達へのインタビューなどを国土交通省 YouTube で配信しています。

- ・熊本県熊本市 『ばっ！水源地』 <https://youtu.be/WIRSXJdHKAc>
- ・徳島県那賀町 『あばばい水源地』 <https://youtu.be/ScauO9CUmOY>
- ・秋田県にかほ市 『へば水源地さ！』 <https://youtu.be/lzyLbMUn7Hw>



熊本県熊本市



徳島県那賀町



秋田県にかほ市

③「水の日」応援大使「シャワーズ」のフォトパネル・スタンプを設置！

②の動画を撮影した水源地周辺施設や水の週間中央行事の「水を考えるつどい」「水のワークショップ」にて、「水の日」応援大使「シャワーズ」のフォトパネル・スタンプを設置し、水源地地域への関心の引き立てやイベントの盛り上げに役立てました。

また、「水の日」応援大使「シャワーズ」のボトルシールを作成し、動画を撮影した水源地周辺施設や「水の日」応援大使「シャワーズ」派遣行事など、様々な場で配布することで、「水の日」の認知度の向上に努めました。



「水の日」スタンプ



水源地フォトパネル



「水の日」応援大使「シャワーズ」
ボトルシール



徳島県那賀町役場木頭支所



8月1日「水を考えるつどい」会場内

○第5回「水のある暮らし」フォトコンテスト【(一社)日本レストルーム工業会】

募集期間 令和5年3月1日(水)～令和5年5月31日(水)

結果発表 令和5年8月1日(火)

主催 一般社団法人 日本レストルーム工業会

入選 最優秀たくみ賞：1点、優秀たくみ賞：3点、たくみ賞入選5点

内容 巧水スタイル※1推進の一環として、水への関心を高め、節水を考える機会の創作を目的とした「水のある暮らし」フォトコンテストを実施しました。

幅広い年齢層の方から多くのご応募をいただき、応募作品を通して、改めて水が身近にあることの喜びとともに、その恵みの尊さ・大切さを感じることができました。

入選者は8月1日の「水の日」にあわせ、(一社)日本レストルーム工業会ホームページ等で発表しています。

※1 巧水スタイルとは、「水を賢く使う社会」の実現のために、日本が世界に冠たる水の国、巧水(たくみ)の国となっていけるよう、産学官の連携によって「節水意識」の向上と「節水化技術」、「節水化システム」の普及・啓発を図る活動によって目指す社会のキーワードです。



募集チラシ



第5回「水のある暮らし」フォトコンテスト
最優秀たくみ賞 受賞作品

広報の取組

国民に「水の日」（8月1日）を広く知っていただき、健全な水循環の重要性について理解と関心を深めていただくため、令和3年7月に水循環政策担当大臣（国土交通大臣）が、ポケットモンスターの「シャワーズ」を「水の日」応援大使に任命しました。

「シャワーズ」大使には、「水の日」PR動画へ出演をはじめ、さまざまな活動を通じ、「水の日」の認知度の向上に努めていただいています。

○「水の日」動画によるPR

投稿日 令和5年7月3日（月）

媒体 YouTube（国土交通省チャンネル）

URL <https://www.youtube.com/watch?v=m0z5NE220rk>

「シャワーズ」と2023ミス日本「水の天使」の竹田聖彩さんが出演する「水の日」PR動画を制作し、YouTube（国土交通省チャンネル）で公開しました。

今年の動画は、令和2年度から実施している「水の日」ブルーライトアップをテーマにしており、茨城県水戸芸術館にて撮影しました。

今年の動画も大きな反響を受け、公開から1か月で9.8万回再生を記録しました。

動画は、YouTube（国土交通省チャンネル）以外に、国土交通省合同庁舎3号館1階展示コーナーや、東京都庁、久留米シティビジョン（福岡県）などのデジタルサイネージにて放映されました。



水の日 PR 動画



水の日 PR 動画 2次元バーコード



国土交通省合同庁舎3号館1階展示コーナー

○8月1日「水の日」までのカウントダウン

8月1日「水の日」の1週間前より、X（旧Twitter）（国土交通省アカウント）で「シャワーズ」によるカウントダウン動画を公開しました。

「水源地」をテーマとし、シャワーズが荒川の河口から上流へ1日ごとにあがっていくストーリーになっています。8日間のツイートで計1.6万「いいね」が付けられました。



○「水の日」ポスターによるPR

期間 令和5年7月1日（土）～令和5年8月7日（火）

場所 関係府省庁、都道府県、市町村、中学校、鉄道会社等で掲出

内容 「シャワーズ」と2023ミス日本「水の天使」の竹田聖彩さんを採用したポスターを制作し、積極的な情報発信を行いました。ポスターは、官公庁（地方公共団体、地方整備局等）のほか、全国の鉄道会社や民間企業の施設でも掲示いただき、「水の日」の認知度向上を図りました。（ポスター配布枚数約2万枚）



令和5年度「水の日」ポスター



ポスター掲出状況
東京メトロ（霞が関駅）

○水の日・水の週間キャンペーン

（株）JR東日本クロスステーションが展開しているコンビニエンスストア「NewDays」において、「水の日・水の週間キャンペーン」として、指定のミネラルウォーターを5本購入すると1本分の引き換えクーポンがもらえるキャンペーンを水の週間期間中に各店舗で実施されました。キャンペーンの期間中は各店舗において、水の日・水の週間のロゴが掲載され、多くの方に水の日・水の週間を知っていただく機会となりました。

○「水の日」応援大使「シャワーズ」の派遣

地方公共団体が主催する「水の日」関連行事に、行事の実施効果を高め、「水の日」の認知度の向上および国民の間に広く健全な水循環の重要性についての理解と関心を深めてもらうため、「水の日」応援大使「シャワーズ」を派遣しました。

今年は、3か所の「水の日」関連行事に「シャワーズ」が登場し盛り上げました。

■ 7月22日（土）茨城県日立市 エコフェスひたち2023



■ 8月4日（金）長野県松本市 打ち水大作戦2023



■ 8月19日（土）愛知県半田市 「水の日」イベントin半田

～みんなあつまれズームイン！のみ水のひみつ～



第47回「水の週間」（令和5年度）都道府県行事一覧

項目 都道府県名	ポスター	パンフレット	映画会・音楽会・研修会 講演会・シンポジウム等	上下流交流 施設見学会等	街頭キャンペーン アンケート	展示会等	水の作文コンクール	広報・PR活動等					
								テレビ	ラジオ	新聞	広報紙	ホームページ	懸垂幕・横断幕 電光掲示板・立看板
全国	47	5	3	8	4	22	47	6	8	7	15	37	12
北海道	○					◎	◎					○	
青森県	○					☆	◎					○	
岩手県	○						◎					○	
宮城県	○					○	◎		○			○	
秋田県	○						○						
山形県	○						○					◎	
福島県	○						◎					◎	
茨城県	○					○	◎					○	
栃木県	○	◎					◎		○			○	○
群馬県	○						◎					○	
埼玉県	○			○		☆	◎		○		◎	◎	◎
千葉県	○					○	◎				◎	◎	○
東京都	○					○	◎					○	○
神奈川県	○		☆	◎	○	◎	◎	☆		◎	◎	◎	☆
新潟県	○						◎	○				○	○
富山県	○						◎			○		○	○
石川県	○						◎						
福井県	○					○	○				☆		
山梨県	○					○	○						
長野県	○	◎					○						☆
岐阜県	◎					◎	◎				☆	○	
静岡県	◎	◎	☆			☆	◎				☆	◎	
愛知県	○			☆		◎	◎				○	○	
三重県	○						◎					◎	
滋賀県	○						◎			○		○	
京都府	○					◎	◎					◎	
大阪府	○						◎				☆	☆	
兵庫県	○				◎	○	◎	☆		☆	☆	◎	
奈良県	○					◎	◎						
和歌山県	○						◎					○	
鳥取県	○						○						
島根県	○						◎			○	◎	○	
岡山県	○			☆			○						☆
広島県	○						◎					◎	
山口県	○						◎					○	
徳島県	○			○		○	◎						○
香川県	○	◎	○	○		○	◎		○	○	○	○	
愛媛県	○			☆		◎	◎	○	○		◎	◎	
高知県	○				◎		◎					◎	
福岡県	○				◎		◎	○	○		○	○	○
佐賀県	○					○	◎						
長崎県	○					☆	◎	☆				◎	
熊本県	○						◎					◎	
大分県	○			☆			◎				○	○	○
宮崎県	○						◎		○	○		○	○
鹿児島県	○						◎		☆		☆	☆	
沖縄県	○	◎				○	◎					○	

注)「ポスター」欄の○は、全国共通版(国土交通省作成)を配布したことを示し、◎は都道府県等で独自に作成したものも配布したことを示す。

「パンフレット」欄の◎は、都道府県等で独自に作成したものを配布したことを示す。

「水の作文コンクール」欄の◎は、都道府県レベルでの「地方表彰」を行っていることを示す。

それ以外の○は、都道府県が独自に取り組んでいることを示し、◎は都道府県に加え市町村等が独自に取り組んでいることを示し、

☆は市町村等のみが独自に取り組んでいることを示す。

第47回「水の週間」新聞等報道状況

月 日	都道府県	新聞名	地域	見 出 し
6月1日	福島県	福島民報	地方	秋山さん(須賀川一)ら最高賞 中学生水の作文県コンクール
6月1日	福島県	福島民友	地方	秋山さん(須賀川一中)ら優秀賞 水の作文 県内5点全国へ
7月15日	北海道	プレス空知	地方	中学生水の作文・道コンクール 砂川の水島くん中央審査へ
7月16日	香川県	西日本放送(ラジオ)	地方	節水チャレンジについて
7月20日	福井県	福井新聞	地方	上下水道の仕組み 展示や体験で学ぶ
7月23日	埼玉県	東京新聞(埼玉版)	地方	大宮で打ち水大作戦
7月23日	鹿児島県	南日本新聞	地方	大波小波 親子で水辺満喫
7月25日	北海道	北海道新聞	地方	<北見>全道水の作文コン入選 相内中3年・小野芭葉さん、2年・横山民桜さん「水守る大切さ感じた」
7月26日	兵庫県	NHK(テレビ)	地方	「暑さしのぎに」芦屋市役所の玄関前に霧を出す装置
7月26日	長崎県	KBC九州朝日放送	地方	長崎水道100周年記念モニュメント「みずまるくん」愛称考案者への記念品贈呈式
7月27日	埼玉県	上毛新聞(西北毛版)	地方	ダム見学、サッカーで交流
7月27日	愛知県	東愛知新聞	地方	「水の恵み」村松さん入選
7月28日	神奈川県	神奈川新聞	地方	中学「水の作文」浜野さん最優秀
7月29日	茨城県	茨城新聞	地方	中学生水の作文コンクール最優秀賞に遠藤さん(土浦日大中教校)
7月30日	兵庫県	神戸新聞	地方	猛烈な暑さに打ち水で対抗！！尼崎で小学生らが体験
7月31日	神奈川県	水道産業新聞	全国	水循環啓発リーフレットを4年生に配布 横浜市
8月1日	富山県	北日本新聞	地方	きょう8月1日は「水の日」
8月1日	福井県	日刊県民福井	地方	ちょうちん 涼しさ演出 —大野の御清水—
8月1日	愛知県	中日新聞	地方	大切な水 ダムの役割紹介
8月1日	島根県	島根日日新聞	地方	高草木さんが入選 全日本中学生水の作文コンクール
8月1日	山口県	防日新聞	地方	ブルーにライトアップ 防府総合用水円筒分水工
8月1日	香川県	四国新聞	地方	8月1日は「水の日」 限りある水資源 大切に
8月1日	長崎県	KTNテレビ長崎	地方	水の日記念にお目見え！長崎市役所で初の「ダムカレー」提供開始！
8月1日	熊本県	KAB(テレビ)	地方	8月1日は「水の日」 ポケモン「シャワーズ」が熊本の水資源PR
8月2日	富山県	北日本新聞	地方	打ち水 暑さや和らげ 射水神社初の大作戦
8月2日	福井県	福井新聞	地方	水思う青、洋館照らす 県内5カ所ライトアップ
8月2日	福井県	福井新聞	地方	水の日川遊び満喫 大野 児童21人豊かさ実感
8月2日	三重県	夕刊三重	地方	「水の日」ちなみ青色に 明和町斎宮の復元建物

8月2日	山口県	宇部日報	地方	水生生物で水質チェック 厚東川で親と子の教室
8月2日	大分県	大分放送	地方	夏休みの小中学生と保護者が浄水場見学 水道水が出来上がるまでのプロセスに驚く
8/2～8/4	滋賀県	京都新聞	滋賀県	滋賀県中学生水の作文コンクール
8月3日	岩手県	東海新報	地方	キャッセンから透明感発信 「水の日」に合わせてライトアップ
8月3日	長野県	信濃毎日新聞	地方	「水の日」佐久市役所を青く演出
8月3日	岐阜県	岐阜新聞	地方	大垣の玄関口、青く光る
8月4日	富山県	富山新聞	地方	中学生8人が入賞 水の作文コンクール
8月4日	兵庫県	Baycom	地方	尼崎市打ち水大作戦inあまがさき2023(週刊Bayニュース内で放送)
8月4日	和歌山県	テレビ和歌山	地方	全日本中学生水の作文コンクール
8月4日	和歌山県	和歌山放送(ラジオ)	地方	第45回全日本中学生水の作文コンクール」表彰式
8月5日	福島県	福島民友	地方	水の作文入賞者 秋山さんら表彰 県コンクール
8月5日	長野県	信濃毎日新聞	地方	松本城公園で「打ち水大作戦」省エネで涼しさ味わって
8月5日	長野県	市民タイムス	地方	お城で打ち水 感謝込め シャワーズも参加
8月5日	徳島県	NHK徳島(テレビ)	地方	親子で水難事故防止の講習会
8月6日	北海道	釧路新聞	地方	水の週間に合わせ 水道の重要性PR
8月6日	青森県	デーリー東北	地方	小林さん(是川中2年)厚労大臣賞
8月6日	徳島県	徳島新聞	地方	親子連れ18人吉野川を満喫
8月7日	青森県	北海道新聞	地方	全力で楽しむ夏休み むつでフェス、7日まで
8月7日	山形県	毎日新聞	全国	熱中症対策 効果いかに 消雪パイプで「打ち水」「水のまち」山形・長井で検証
8月7日	福島県	福島民報	地方	全国で入選の秋山さんら表彰 中学生水の作文
8月7日	茨城県	日本水道新聞	全国	施設も「水」色
8月7日	香川県	四国新聞	地方	魚のすくい取りに歓声 三豊で「水辺の納涼祭」
8月8日	北海道	北海道新聞	地方	砂川中3年・水島颯一さん 全国作文コンクール優秀賞 遊水地の環境題材
8月8日	北海道	プレス空知	地方	水島くん全国優秀賞 中学生水の作文コン 遊水地の思い出綴る
8月8日	青森県	東奥日報	地方	水遊び めっちゃ楽しい 金谷公園でフェス
8月8日	富山県	北日本新聞	地方	浄水場で除草 市管工業協同組合
8月10日	宮城県	TBC東北放送	地方	全日本中学生水の作文コンクールで農林水産大臣賞の仙台の中学生が「一日ダム管理所長」に就任 宮城
8月11日	神奈川県	TBS(THE TIME.)	全国	きれいな水を育む”森の秘密”
8月16日	沖縄県	沖縄タイムス	地方	平田さんに全国優秀賞 南風原中3年 水の作文コンクール
8月17日	神奈川県	神奈川新聞	地方	秦野名水守り次代へ「汚染の怖さ語り継ぐ」

8月17日	岐阜県	岐阜新聞	地方	多治見で打ち水大作戦
8月19日	神奈川県	神奈川新聞	地方	この夏、水源地の大切さを学ぼう -YOKOHAMA Save The Water 2023-
8月22日	和歌山県	和歌山放送(ラジオ)	地方	第45回「全日本中学生水の作文コンクール」表彰式(朗読)
8月25日	和歌山県	テレビ和歌山	地方	マンスリー県政「全日本中学生水の作文コンクール」
8月25日	宮崎県	宮崎日日新聞	地方	全日本中学生水の作文コン 崎田、田邊さん(宮崎西高付属中)入選

「水の週間」実施経過

メインスローガン「水—この限りある貴重な資源」 「水は限りある貴重な資源です」

(国土庁発足 S49. 6. 26)
 (国土交通省に再編 H13. 1. 6)
 (水循環政策本部発足 H26. 7. 1)

年・回	サブスローガン	ポスターキャッチフレーズ	実施事項	備 考
昭和 52 (1)	貴重な水・あなたと一緒に考えたい	水の用心	○水の週間展示会（国土庁会議室） （ポスター、パンフレット） ○第 1 回水資源に関するシンポジウム （10. 25）	・水の週間閣議了解（5. 31） ・国連水会議（3. 14 ～ 25） ・第三次全国総合開発計画閣議決定
昭和 53 (2)	水の価値をみなおそう 水源地域の人々に感謝しよう 水とのふれあいのなかで……	水も難局だな	○ウォーターフェア’ 78 （銀座 松屋）	・水の週間実行委員会設立 （5. 8、11 団体） ・長期水需給計画策定 ・福岡渇水
昭和 54 (3)	水源地域の人々に感謝しよう 水の大循環の中で私たちは… 限りある水—いまこそいかそう私 たちの智恵—	育てよう水 —足どり確かに、 — 一步一步。 —	○ウォーターフェア’ 79 （船の科学館） ○第 1 回全日本中学生水の作文コンク ール ○水資源功績者表彰 ○ウォーターフェアふくおか（福岡市）	・水資源世論調査
昭和 55 (4)	節水型社会をめざして 上下流の連帯を育てよう	貯めましょう日本の水 —みんなの水を、みんなの水 で。 —	○ウォーターフェア’ 80 東京 （科学技術館） ○上下流交流運動	・地域水需給計画推進 ・沖縄渇水
昭和 56 (5)	水源地の人たちに感謝しまし いのちの水・水とのであい。	今日の水・明日の水 —水みんなの和で 育てよう。 —	○ウォーターフェア’ 81 東京 （科学技術館） ○第 1 回ウォーターフェア隅田川 レガッタ ○ウォーターフェアポートピア （兵庫県）	・水研究協力校の指定
昭和 57 (6)		丈夫な水に育てたい。	○ウォーターフェア’ 82 東京 （科学技術館） ○第 2 回水資源に関するシンポジウム （8. 3 ～ 5）	・長崎水害
昭和 58 (7)		やさしい、水、好き。	○ウォーターフェア’ 83 東京 （科学技術館）	・これより毎年、水資源白書作成
昭和 59 (8)		水の愛につつまれて	○ウォーターフェア’ 84 東京 （科学技術館）	・水資源局から水資源部へ改組 （国土庁） ・国際河川博覧会（アメリカ・ニュー オリンズ）
昭和 60 (9)	考えよう水—くらしと水・資源とし て水—	水・ありがとう。	○ウォーターフェア’ 85 東京 （科学技術館） ○ウォーターフェア KOBE （神戸市）	・冬期渇水
昭和 61 (10)	築こう 水のある豊かな暮らし	いつも水といっしょ。	○ウォーターフェア’ 86 東京 （科学技術館） ○ウォーターランド（新宿副都心） ○第 1 回水とのふれあいフォトコンテ スト ○ダム子供マラソン（宮ヶ瀬ダム）	・水資源世論調査 ・冬期渇水（西日本）
昭和 62 (11)	水のある豊かな暮らし	水は、ともだち。	○ウォーターフェア’ 87 東京 （科学技術館） ○第 3 回水資源に関するシンポジウム （浩宮殿下による特別講演） （8. 4 ～ 5）	・首都圏渇水 ・第四次全国総合開発計画閣議決定 ・全国総合水資源計画（ウォーターブ ラン 2000）策定
昭和 63 (12)	水のある豊かな暮らし	ぼくの水、みんなの水。	○ウォーターフェア’ 88 東京 （科学技術館） ○水の日記念テレビトーク	・浩宮殿下展示会御台臨 ・竹下内閣総理大臣記念式典臨席
平成元 (13)	水のある豊かな暮らし	水、今日もありがとう。	○ウォーターフェア’ 89 東京 （科学技術館）	・皇太子殿下展示会行啓 ・宇野内閣総理大臣記念式典臨席
平成 2 (14)	水のある豊かな暮らし	水がささえる豊かな社会	○ウォーターフェア’ 90 東京 （科学技術館）	・人と水とのかわり世論調査 ・首都圏渇水

年・回	サブスローガン	ポスターキャッチフレーズ	実施事項	備 考
平成 3 (15)	水が支える豊かな暮らし	水…みんなの宝	○ウォーターフェア’ 91 東京 (東京都庁)	・皇太子殿下記念式典、展示会行啓
平成 4 (16)	水が支える豊かな暮らし	考えよう、水のあした	○ウォーターフェア’ 92 東京 (東京都庁) ○第 4 回水資源に関するシンポジウム (10.24)	・環境と開発に関する国連会議
平成 5 (17)	水が支える豊かな暮らし	水がなくては生きられないから ね	○ウォーターフェア’ 93 東京 (墨田区役所)	・「国連水の日」制定 (3.22)
平成 6 (18)	水が支える豊かな暮らし	すばらしい自然の恵み 「水」を見直そう	○ウォーターフェア’ 94 東京 (墨田区役所)	・村山内閣総理大臣記念式典臨席 ・全国的な渇水 ・人と水とのかかわり世論調査
平成 7 (19)		大切に使おう、かけがえのない 「水」	○ウォーターフェア’ 95 東京 (墨田区役所)	
平成 8 (20)		天の恵み「水」。ありがとう。 「水」を見つめて、20 年。	○ウォーターフェア’ 96 東京 (科学技術館)	・皇太子ご夫妻記念式典、展示会行啓 ・橋本内閣総理大臣記念式典臨席
平成 9 (21)		夏、到来。	○ウォーターフェア’ 97 東京 (科学技術館) ○第 5 回水資源に関するシンポジウム (8.4～5)	
平成 10 (22)		みんなで考えよう、 水の大切さ…。	○ウォーターフェア’ 98 東京 (科学技術館)	
平成 11 (23)		「当たり前」ではありません！	○ウォーターフェア’ 99 東京 (科学技術館) ○水源地域からのメッセージ	・新しい全国総合水資源計画(ウオー タープラン 21)策定 ・小淵内閣総理大臣記念式典臨席、展 示会視察
平成 12 (24)		水の力	○ウォーターフェア 2000 東京 (江戸東京博物館)	
平成 13 (25)		水の世紀。川の恵み。	○ウォーターフェア’ 01 東京 (東京都庁)	・国土交通省発足 (1.6) ・全国的な渇水
平成 14 (26)		水の世紀。川の恵み。	○ウォーターフェア’ 02 東京 (新宿パークタワー) ○第 6 回水資源に関するシンポジウム (8.2～3)	・皇太子殿下記念式典、展示会行啓
平成 15 (27)		水の世紀。川の恵み。	○ウォーターフェア’ 03 東京 (科学技術館)	・長い梅雨、冷夏
平成 16 (28)		みんな水から始まった	○ウォーターフェア’ 04 東京 (科学技術館)	・東京の真夏日の連続記録更新 ・局所的な豪雨
平成 17 (29)		みんな水から始まった	○ウォーターフェア’ 05 東京 (科学技術館)	・全国的な渇水 ・局所的な豪雨
平成 18 (30)		水のある幸せ、これからも	○ウォーターフェア’ 06 東京 (科学技術館)	・皇太子殿下 水の展示会行啓 ・17 年末に全国で大雪、降水量首都圏 は平年並み
平成 19 (31)		水がある、いのちがある。	○ウォーターフェア’ 07 東京 (科学技術館) ○第 7 回水資源に関するシンポジウム (8.3～4)	・春から 6 月にかけ西日本を中心に少 雨続く、梅雨入りに遅れ、一部で渇 水、夏に記録的高温
平成 20 (32)		水はぐくむ和の暮らし	○ウォーターフェア’ 08 東京 ○水を考えるつどい (科学技術館)	・中国、四国地方を中心とした渇水 ・局所的な豪雨
平成 21 (33)		将来を安全・安心に暮らすた め、水を大切に使う社会へ	○ウォーターフェア’ 09 東京 ○水を考えるつどい (科学技術館)	・中国、九州北部を中心とした記録的 な豪雨
平成 22 (34)		水の安心・安全を考えよう！	○ウォーターフェア’ 10 東京 ○水の週間記念シンポジウム (科学技術館)	・局所的な豪雨 ・全国で記録的な猛暑
平成 23 (35)		水の恵み～東日本大震災を機 に考える～	○水の週間中央行事「水の展示会」 ○「水の週間」水を考えるつどい (科学技術館)	・皇太子殿下水を考えるつどい行啓 ・平成 23 年 7 月新潟・福島豪雨 ・全国で節電の夏
平成 24 (36)		水の恵みを未来に～健全な水循 環の再生を目指して～	○水の週間中央行事「水の展示会」 ○水の週間シンポジウム (科学技術館)	・平成 24 年 7 月九州北部豪雨 ・利根川水系渇水 ・全国で節電
平成 25 (37)		安全・安心な水のために	○水の週間中央行事「水の展示会」 ○水の週間シンポジウム (発明会館)	・全国的な渇水 ・全国で記録的な猛暑、局所的な豪雨

年・回	サブスローガン	ポスターキャッチフレーズ	実施事項	備 考
平成 26 (38)		水とめぐる水のめぐみ	○「水の日」「水の週間」記念 水を考えるつどい(砂防会館) ○水の週間中央行事「水のワークショップ・展示会」	・水循環基本法施行及び水循環政策本部設立 ・水循環基本法における「水の日」の法定化 ・平成 26 年 8 月豪雨(広島、京都など) ・御嶽山噴火
平成 27 (39)		みんなで考えよう！水のこと！	○「水の日」「水の週間」記念 水を考えるつどい(国連大学) ○水の週間中央行事「水のワークショップ・展示会」	・水循環基本計画閣議決定(平成 27 年 7 月) ・平成 27 年 9 月東北・関東豪雨
平成 28 (40)		水とめぐる水のめぐみ	○「水の日」「水の週間」記念 水を考えるつどい(科学技術館) ○水の週間中央行事「水のワークショップ・展示会」	・皇太子同妃両殿下 水を考えるつどい行啓 ・全国的な渇水
平成 29 (41)		水を探そう	○「水の日」「水の週間」記念 水を考えるつどい(イイノホール) ○水の週間中央行事「水のワークショップ・展示会」	・平成 29 年 7 月九州北部豪雨 ・全国的な渇水
平成 30 (42)		水は、大切でした。	○「水の日」「水の週間」記念 水を考えるつどい(イイノホール) ○水の週間中央行事「水のワークショップ・展示会」	・平成 30 年 7 月豪雨
令和元 (43)		私たちを支える水。考えてみませんか。訪ねてみませんか。	○「水の日」「水の週間」記念 水を考えるつどい(パークタワーホール) ○水の週間中央行事「水のワークショップ・展示会」	・全国的な渇水 ・令和元年 8 月前線に伴う大雨による土砂災害発生(佐賀県、長崎県など) ・令和元年 9 月台風 15 号による住家被害、大規模停電、断水(千葉県) ・令和元年 10 月台風 19 号による堤防決壊(東日本)
令和 2 (44)		ポケットモンスターのシャワーズも 8 月 1 日「水の日」を応援しています。	○「水の日」「水の週間」記念 水を考えるつどい(Web 配信)	・世界中に新型コロナウイルス感染症(COVID-19)が蔓延 ・新たな「水循環基本計画」が閣議決定(令和 2 年 6 月) ・令和 2 年 7 月豪雨
令和 3 (45)		未来へうけつごう 日本のきれいな水	○「水の日」「水の週間」記念 水を考えるつどい(パークタワーホール) ○水の週間中央行事「水の展示会オンライン」	・新型コロナウイルス感染症(COVID-19)が猛威 ・水循環基本法の一部改正(令和 3 年 6 月)、流域治水関連法の施行(令和 3 年 7 月) ・令和 3 年 7 月伊豆山土砂災害
令和 4 (46)		水を未来へつなごう シャワーズも応援！	○「水の日」「水の週間」記念 水を考えるつどい(イイノホール) ○水の週間中央行事「水のワークショップ・水の展示会オンライン」	・水循環基本計画の一部見直し閣議決定(令和 4 年 6 月) ・瑠子女王殿下 水を考えるつどいご臨席 ・新型コロナウイルス感染症(COVID-19)が猛威
令和 5 年 (47)		限りある水資源 私たちにできること	○「水の日」記念行事 水を考えるつどい(イイノホール) ○水の週間中央行事「水のワークショップ・展示会」(音楽の友ホール)	・新型コロナウイルス感染症(COVID-19)が 5 類へ移行(令和 5 年 5 月) ・瑠子女王殿下 水を考えるつどいご臨席

水の週間実行委員会について

昭和 53 年に、水に関係の深い民間団体により、「水の週間実行委員会」が設立され、「水の日」「水の週間」の趣旨に賛同し、この運動をさらに広汎な国民運動として推進することとして、政府・地方公共団体等が行う各種の啓発活動と連携して諸活動を実施している。

水の週間実行委員会設立趣意書

(昭和 53 年 5 月 8 日設立総会)

かつて、ケネディは「21 世紀を制するものは原子力と水だ」と断言し、水問題の重要性を訴えたが、まことに水は国の産業経済の発展のみならず人類の生存に必須なものであり、水問題の解決なくしては将来の発展は考えられないとあってよいであろう。

古来、我が国は、豊葦原瑞穂の国といわれ豊かな水に恵まれ“水の恩恵”を享受してきており、「水は天からもらい水」「湯水のように使う」などの言葉に示されるように水はいつでも好きなだけ使える無尽蔵な資源と考えられがちであった。

しかし、近年における生活水準の向上、産業経済の発展に伴い特に人口・産業の集中が著しい関東・近畿等の都市における生活用水、工業用水等の水需要が急激に増大し、渇水時における水不足や水質汚濁、地盤沈下等の問題を生じるどころとなり、ようやく「水」が限りある資源として認識されはじめたところであるが、まだ十分とはいえない。

このため、政府は、昭和 52 年に 8 月 1 日を「水の日」とし、この日から 1 週間を「水の週間」と定め水に関する国民の理解と認識を深めることとして、水に関する各種の啓発運動を実施したところであるが、誠に時宜を得た意義深いものであり、今後とも積極的な展開が望まれるところである。

とりわけ、開発適地の減少等からダム等による水資源開発が次第に困難となり近い将来における水需要のひっ迫が避けられず、今後は水利用の合理化等の施策の推進が必要となっている今日の状況に鑑みるならば、「水の週間」における啓発運動をさらに積極的に推進し、国民一人一人が水資源開発の重要性を十分認識し、水の有限性・貴重さを理解し節水等の具体的な行動に留意するような効果的な運動として盛り上げる必要がある。

このような考えのもとに、政府による「水の週間」の各種の啓発運動と一体となった諸行事を積極的に実施し、もって水資源問題解決の一助に資するものとして、「水」に深いかわりをもつ事業団体等によっての水の週間実行委員会を設立するものである。

水の週間実行委員会組織

名誉会長 虫明 功臣

会 長 小池 俊雄

令和5年10月1日現在

団 体 名	実 行 委 員	運 営 委 員	
全国水土里ネット 造水促進センター 日本治山治水協会 日本河川協会 日本工業用水協会 日本水道協会 全国簡易水道協議会 日本下水道協会 日本ダム協会 利根川・荒川水源地域対策基金 日本水フォーラム 地下水適正管理協議会 土木学会 農業農村工学会 国立研究開発法人 土木研究所 水災害リスクマネジメントセンター 水資源機構	専務理事	室本 隆 司	<small>土地改良広報センター所長</small>
	理事長	山本 和 夫	専務理事
	会 長	山口 俊 一	専務理事
	会 長	甲村 謙 友	常務理事
	会 長	金田 学	専務理事
	理 事 長	青木 秀 幸	調査部長
	会 長	小田 祐 士	事務局長
	理 事 長	岡久 宏 史	常務理事
	会 長	押味 至 一	専務理事
	理 事 長	藤井 友 竝	事務局長
	常務理事	渡邊 和 足	
	代表理事	竹村 公 太 郎	ディレクター
	会 長	山本 和 夫	情報部会長
	会 長	田中 茂 義	専務理事
会 長	平松 和 昭	専務理事	
センター長	小池 俊 雄		
理 事 長	金尾 健 司	総務部長	
理 事	◎ 古橋 季 良		
		牧 千 瑞	
		大熊 那 夫 紀	
		津 元 頼 光	
		志 賀 文 夫	
		高 田 浩 幸	
		渋谷 正 夫	
		小 平 鉄 雄	
		成 田 儀 範	
		光 成 政 和	
		明 戸 邦 浩	
		小 宮 秀 樹	
		島 田 克 也	
		三 輪 準 二	
		小 泉 健	
		長 福 知 宏	

団 体 名	実 行 委 員	運 営 委 員	
国土交通省（水資源部）	—	大臣官房 審議官 水資源政策課長 水資源計画課長 水資源政策課水源地域対策企画官 水資源政策課課長補佐	○片貝 敏雄 小山 陽一郎 貫名 功二 齋 藤 悠 小林 亜希美
東京都（都市整備局）	—	局 長 都市づくり政策部長 都市づくり政策部 水資源・建設副産物担当課長	谷崎 馨一 山崎 弘人 重野 達史

◎運営委員長 ○運営副委員長

第47回「水の週間」ポスター



私たちにできること

限りある水資源

2023ミス日本
「水の天使」
竹田 聖彩

シャワーズは
きれいな水辺に生息し、
細胞が水の分子に
似ていることから、
「水の日」応援大使として
「水の日」を応援しています。

ポケットモンスター

No.134 シャワーズ

タイプ みず

とくせい ちょすい

水循環基本法に基づき

8月1日が「水の日」と定められました。

8月1日から7日は「水の週間」です。



「健全な水循環」
ロゴマーク

【主催】水循環政策本部、東京都、水の週間実行委員会ほか
【後援】文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、環境省ほか

「水の日・水の週間」に関する情報は各ホームページへ
(首相官邸、国土交通省、水の日・水の週間)

©2023 Pokémon. ©1995-2023 Nintendo/Creatures Inc./GAME FREAK inc. ポケットモンスター・ポケモン・Pokémonは任天堂・クリーチャーズ・ゲームフリークの登録商標です。

<https://mizunohi.jp>

水の日 検索



水の週間実行委員会事務局

〒330-6008 埼玉県さいたま市中央区新都心 11-2

独立行政法人水資源機構 総務部広報課内

TEL 048-600-6513 FAX 048-600-6510